

令和5年度（春季入学）

山形大学大学院医学系研究科
看護学専攻（博士後期課程）
学 生 募 集 要 項
（第2次募集）

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により、本要項の記載内容に変更が生じた場合は、本研究科ホームページ「入試情報」でお知らせしますので、随時確認してください。

<https://www.id.yamagata-u.ac.jp/daigakuin/nyushi.html>

令和4年8月

山 形 大 学

目 次

看護学専攻（博士後期課程）学生募集要項

1	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	募集人員	1
3	出願資格	1
4	入学資格審査	2
5	出願手続	3
6	入学者選抜方法	4
7	試験日程・試験場所	5
8	受験者心得	5
9	合格者発表	5
10	入学手続	5
11	授業料	6
12	注意事項	6
13	参考事項	6
山形大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程概要		7
長期履修学生制度について		8
教育・研究領域及び連絡を受ける教員		9
令和4、5年度山形大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程研究指導体制		10
カリキュラムの編成と授業科目		11

出願書類

- 入学願書
- 履歴書
- 写真票
- 受験票
- ラベル票
- 受験許可書

入学資格審査書類

- 入学資格審査願
- 入学資格認定審査調書（入学資格審査用）
- 業績調書（入学資格審査用）
- 研究歴・実務経験証明書（入学資格審査用）

山形大学医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）

学生募集要項

1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【医学系研究科】

医学系研究科は、自ら考え、現代の多様な課題を解決する力を持つ人間性豊かな医療人・研究者・技術者等を養成するため、医学専攻、先進的医科学専攻及び看護学専攻を設置しています。

医学専攻及び看護学専攻は、医学又は看護学を広く修め、専門領域における高度の研究能力と、豊かな学識及び高い倫理観を備えた医療人を育成するとともに、広く各方面において、将来の指導的役割を果たす人材の育成を行います。

また、先進的医科学専攻は、医学部出身者のみならず薬学、理学、工学、農学、人文社会科学、コメディカル、行政など幅広い分野からの学生を受け入れ、21世紀を先導できる創造力と応用力及び実行力に富んだ高度な研究者、高度専門医療従事者及び高度研究支援技術者を育成します。

医学系研究科の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・病気の治療や予防により、人の健康を維持、増進することについて、強い意欲のある人
- ・専門領域において高い問題意識と倫理観を持ち、自身の研究能力を積極的に向上させる意欲のある人
- ・様々な分野の研究者と協力し合い、多様で複雑な課題に対する有効で具体的な解決策の探求を行う意欲のある人

以上のような観点から各専攻では、次のような学生を求めています。

【看護学専攻】

看護学専攻は、研究マインドのある自立した看護高度専門職業人として、看護の質の向上を推進するため、高い倫理観を持ち、理論・技術開発からシステムづくり、人づくりまで統合的かつ学際的な視野で促進できる人材を育成し、我が国の来るべき超高齢社会に貢献することをめざしています。

看護学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・高い問題意識を持って専攻したい領域における看護研究を推進できる基礎能力を有する人
- ・基本的人権擁護と高い倫理意識を兼ね備え、人々の自己決定を支援できる人
- ・人間性に優れ、豊かな学識の涵養に努めるとともに、研究マインドのある看護高度専門職業人として、教育・研究・看護実践活動に貢献する意志がある人

◆入学者選抜の基本方針

上記の求める学生像で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

一般入試（筆記試験、口頭試問、提出書類の審査結果を総合して判定）

2 募集人員

令和5年度（春季入学） 3人

※「令和5年度（春季入学）」は令和5年4月入学となる。

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者又は令和5年3月までに次にいずれかに該当する見込みの者

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 外国の学校、学校教育法施行規則第156条第3号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

4 入学資格審査

出願資格の⑦又は⑧により出願しようとする者は、あらかじめ志願する教育研究分野の教授と相談の上、次の（1）に掲げる提出書類により入学資格の認定を受けること。

（1）入学資格審査書類

①	入学資格審査願	本要項に添付の所定の用紙を使用すること。
②	入学資格認定審査調書	本要項に添付の所定の用紙を使用すること。
③	業績調書	<p>（1）本要項に添付の所定の用紙を使用すること。</p> <p>（2）論文</p> <p>ア 出願資格の⑦の者 論文を記入し、そのうち一つを選定し、論文の写しと要旨（1,000字以内）を添付すること。</p> <p>イ 出願資格の⑧の者 申請者の実務を通して作成された志願領域に関する論文を記入し、そのうち一つを選定し、論文の写しと要旨（1,000字以内）を添付すること。</p> <p>※ 論文は単著のものとするが、共著の場合は申請者が筆頭著者のものに限る。</p>
④	研究歴・実務経験証明書	<p>本要項に添付の所定の用紙に、ア又はイを記入すること。</p> <p>ア 出願資格の⑦の者 2年以上の研究歴を有することの証明</p> <p>イ 出願資格の⑧の者 3年以上の実務経験を有することの証明</p>
⑤	最終学校成績証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの。
⑥	最終学校卒業証明書	出身学校長が作成したもの。
⑦	審査結果通知用返信封筒	長形3号封筒に住所・氏名を記載し84円分の切手をはったもの。

（2）入学資格審査書類の提出期間

令和4年8月29日（月）から9月9日（金）まで（土・日曜日を除く）

（郵送の場合も9月9日（金）まで必着とする。）

受付時間は、各日とも9時から16時30分までとする。

なお、**郵送の場合は書留速達扱いとし、封筒に「看護学専攻（博士後期課程）入学資格審査書類 在中」と朱書きすること。**

（3）入学資格審査書類の提出先

〒990 - 9585 山形市飯田西2丁目2-2

山形大学医学部入試担当

電話（023）628 - 5049

(4) 入学資格審査認定基準

ア 出願資格の⑦

筆頭著者論文があること

イ 出願資格の⑧

大学、短期大学、専修学校、各種学校等の卒業者で、次の各号のすべてに該当する者

(a) 志願する教育・研究領域に関わる実務経験が3年以上(実質)あること

(b) (a)の実務を通して作成された当該教育・研究領域に関する筆頭著者論文があること

(c) 研究テーマをもち、意欲的に学ぶ姿勢があること

(5) 入学資格審査結果の通知期日

令和4年9月22日(木)

5 出願手続

(1) 出願受付期間及び提出方法

令和4年9月29日(木)から10月7日(金)まで(土・日曜日を除く)

(郵送の場合も、10月7日(金)まで必着とする。)

受付時間は、各日とも9時から16時30分までとする。

なお、郵送の場合は書留速達扱いとし、封筒に「看護学専攻(博士後期課程)出願書類在中」と朱書きすること。

(2) 出願書類

出願者は次に掲げる①～⑧の書類(在職中の者は①～⑨の書類)を取りそろえ、出願期間内に提出すること。

出 願 書 類		出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
①	入 学 願 書 履 歴 真 験 写 受 票	本要項に添付の所定の用紙を使用すること。 ※ 「4 入学資格審査」認定により出願する者は、入学資格審査結果通知書の写しを添付すること。
②	成 績 証 明 書	最終学歴出身学校長が作成し、厳封したもの。
③	卒 業 (見 込) 証 明 書	最終学歴出身学校長が作成したもの。
④	検定料を振り込んだことが分かる書類の写し	<p>令和5年3月に本学大学院修士課程(博士前期課程)又は専門職学位課程修了見込みの者及び本学出願後に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている者については、<u>検定料は不要なので、必ずその旨申し出ること。</u></p> <p>1 検定料 30,000円 2 払込期間 令和4年9月22日(木)から10月7日(金)まで 3 払込方法 (1) 以下の振込先に金融機関窓口又はATMから振り込むこと。金融機関窓口からは「電信扱」で振り込むこと。 (2) 振込の際、ご依頼人名・振込人名等には、必ず数字の「242」を記入した後に出願者本人の氏名を記入すること(この数字は本学で振込人の志願専攻等を識別するためのものである。) (3) 振込手数料は各自の負担とする。</p> <p>4 振込先 【金融機関名】山形銀行 【支店名】本店営業部 【預金種別】普通口座 【口座番号】59358 【口座名義(カナ名義)】ヤマガタダイガク 【口座名義】国立大学法人山形大学 学長 玉手英利</p> <p>5 振込内容が分かる振込控え(「ご利用明細」など)の写しを提出すること。 振込控えに預金残高など出願に関係のない個人情報が入力されている場合は、「振込日時」「振込先」「振込人氏名」「振込金額」以外は塗りつぶしても構わない。 振替控えに「振込予約日」が記載されている場合は、「振込予約日」</p>

		を塗りつぶさないこと。 モバイルバンキングなど、振込控えが出ない方法では振り込まないこと。 6 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 なお、申出期限は令和5年3月31日(金)までとする。 (1) 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含む。) (2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合 (3) 出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合 ※ 返還についてのお問合せ先：医学部入試担当
⑤	返信用封筒	受験票の送付に使用するので、定形封筒(長形3号)に志願者の氏名及び送付先を記入し、84円分の切手をはること。なお、速達を希望する者は、344円分の切手をはること。
⑥	ラベル票	本要項に添付のラベル票に郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入すること。
⑦	業績調書	1 修士論文又は主な研究論文 (1) 修士論文等 ・修士論文を有する者は学位論文の写しとその要旨(1,000字程度) ・修士論文が未完成の者(令和4年9月又は令和5年3月修了予定者)は修士における研究計画書を提出し、修士論文完成後に論文と要旨を併せて提出すること。 (2) 上記以外の者は、論文などの写し及びその要旨(1,000字程度) 2 業績リスト 次の事項をA4判用紙に記載したもの(様式及び枚数は任意)。 年号は西暦で統一し、著者名は論文等に記載された順に記載すること。 ア 論文：著者名、題名、掲載誌、巻、ページ、年を明記すること。 イ 著書：著者名、書名、題名、出版社、発行年を明記すること。 ウ 学会等発表：著者名、演題名、学会名、場所、年を明記すること。 エ 社会活動の概要：専門職者としての社会活動について明記すること。
⑧	研究計画書	看護研究の課題、動機、目的、方法について、A4判用紙2枚にまとめること(様式は任意)。
⑨	受験許可書	出願時に在職中の者は、本要項に添付の所定の用紙を使用すること。

※ 入学資格審査認定により出願しようとする者は、前頁②③を提出する必要はない。

(3) 出願書類等の提出先

〒990-9585 山形市飯田西2丁目2-2

山形大学医学部入試担当

電話 (023) 628-5049

※ 出願書類等の提出に先立ち、10頁の別表2「令和4、5年度山形大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程研究指導体制」を参照し、9頁の別表1「教育・研究領域及び連絡を受ける教員」に記載してある教員と、研究内容等について打合わせを行うこと。

6 入学者選抜方法

筆記試験、口頭試問及び提出書類により総合的に判定する。

① 筆記試験

英語：英和・和英辞典の持ち込み可(電子辞書、医学看護学等専門辞書を除く。)

小論文：和文又は英文の小論文

② 口頭試問

修士論文又は学術論文の内容、専攻分野における教育・実践活動の実績、研究能力等に関し個別面接を行う。

7 試験日程・試験場所

試験実施期日	時間	試験科目	試験場
令和4年10月20日(木)	9:00~10:30	英語	山形大学医学部 (山形市飯田西2丁目2-2)
	11:00~12:30	小論文	
	14:00~15:30	口頭試問	

英語及び小論文については試験室で、口頭試問については担当教授室でそれぞれ実施する予定である。

8 受験者心得

(1) 受験票について

- ・試験当日は、受験票を持参し、試験場に入場する際に提示すること。
- ・試験場では、常に受験票を携行し、受験中は係員の指示に従うこと。また、試験室では受験票に記載されている受験番号と同じ番号がはられている席に着くこと。
- ・試験当日、受験票を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとること。
- ・受験票を紛失した場合は、速やかに医学部入試担当に申し出ること。

(2) 受験者は試験開始時刻30分前までに試験場に到着すること。

(3) 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けること。

(4) 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室は認めない。

(5) 筆記試験等における留意点について

- ・受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。)、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけを取り出したもの。)、目薬とする。なお、英語の試験の際は、英和・和英辞典(電子辞書、医学看護学等専門辞書を除く。)の持ち込みを可とする。
- ・試験室では、他人のものを借用したり、共用してはいけない。
- ・不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とする。

(6) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておくこと。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為となることがある。

(7) 英文字がプリントされている服等は着用しないこと。着用している場合には、脱いでもらうことがある。

(8) 試験が午後にわたるため、昼食を持参することが望ましい。

9 合格者発表

令和4年11月17日(木) 11時

山形大学大学院医学系研究科ホームページ「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に郵送で通知する。

なお、電話等によるお問合せには一切応じない。

10 入学手続

(1) 入学手続期間

令和4年11月21日(月)から11月29日(火)まで(土・日曜日、祝日を除く)

(郵送の場合も、11月29日(火)まで必着とする。)

(2) 納付金

入学料 282,000円

(ただし、令和5年3月に本学大学院修士課程(博士前期課程)又は専門職学位課程を修了し、引き続き本課程に進学する者は不要。)

(3) 提出書類

① 入学誓書

② 写真(3か月以内撮影、上半身、無帽、正面、カラー、縦4.0cm×横3.0cm)

③ その他

※ 入学手続の詳細については、合格通知の際に本人宛てに通知する。

11 授業料

(1) 授業料

年額 535,800円 (予定額)

(2) 納付方法等

入学後に納付する。

「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できる。

(注) 1. 上記の金額は、未確定のため予定額である。

2. 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。

3. 納付方法等詳細については、合格通知の際に通知する。

12 注意事項

(1) 出願手続後の出願書類の内容変更は認めない。

(2) 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学決定後であっても、入学許可を取り消すことがある。

(3) 入学試験に関する個人情報には次の目的のために利用する。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはない。

① 入学者選抜試験実施のため

② 入学手続業務のため

③ 入試統計調査のため

④ 就学上必要な本学での業務のため

⑤ その他大学として必要な業務のため

13 参考事項

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度等がある。

山形大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程概要

1 設置の目的

本専攻は、研究マインドのある自立した看護高度専門職業人として、看護及び介護の質の向上を推進するため、看護・介護の理論・技術開発からシステムづくり、人づくりまで統合的かつ学際的な視野で促進できる人材を育成し、我が国の来るべき超高齢社会に貢献することをめざしています。

2 本専攻の教育理念

(1) 看護・介護の質の向上を統合的に促進できる人材育成

人々の安全と安心、健康と尊厳ある生活を支え、超高齢社会に向けて人づくり・システムづくりを促進できる、研究マインドのある、自立した看護高度専門職業人を育成する。

(2) 人材育成像（看護・介護の質向上を統合的に促進する観点から）

- ・ 看護・介護の安全と質を保証する教育・研究・実践活動を自立して展開できる人
- ・ 高齢社会を担う子どもの健やかな心を精神発達への支援から高齢者の健康支援、虚弱・介護を要する高齢者、在宅療養者の尊厳ある生活を支援する看護・介護に関する教育・研究・実践活動を自立して展開できる人
- ・ 高齢社会の看護高度専門職業人に不可欠な、加齢理論・看護薬理学に基づく高齢者の疾病予防と生活支援の基礎理論を開発・整備し、教育・研究・実践への貢献を自立して展開できる人

3 教育課程

- (1) 本専攻は、看護・介護サービス利用者の安全と安心の保証、尊厳ある生活と健康支援の発展に貢献し、看護・介護の理論・技術・システム・人材育成の統合的な開発力を備えた人材育成をめざす観点から、教育・研究分野を「高齢社会看護学」としています。本教育・研究分野は、「安全・管理支援看護学」と「生涯生活支援看護学」の2領域で構成されています。選択した教育・研究領域に定める次の授業科目についてすべて履修し、18単位を修得しなければなりません。かつ、博士論文の審査に合格することを修了の要件とする。

教育・研究分野	教育・研究領域	授 業 科 目	単位数
高 齢 社 会 看 護 学	安全・管理支援看護学	高齢社会看護学特論	2
		安全・管理支援看護学研究方法演習	2
		安全・管理支援看護学フィールド実習	4
		高齢社会看護学特別研究	10
	生涯生活支援看護学	高齢社会看護学特論	2
		生涯生活支援看護学研究方法演習	2
		生涯生活支援看護学フィールド実習	4
		高齢社会看護学特別研究	10

- (2) 授業科目の講義等の概要 別表3（11頁）

4 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例

在職しながらの就学を希望するものに対し、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人の就学に特別措置を行うことができるよう配慮されている。それを踏まえ、本研究科看護学専攻では、教育方法の特例による教育を実施しているため、希望する場合は、出願前に別表1（9頁）の『教育・研究領域及び連絡を受ける教員』に記載してある教員にその旨を伝えること。

長期履修学生制度について

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度である。

1 対象者

職業を有する者並びにその他やむを得ない事情のある者を対象とする。

2 長期履修期間

標準修業年限（3年）を、3年を限度として延長することができる。

ただし、長期履修学生が、修業年限の2倍（6年）を超えても、なお修了できない場合は、除籍の対象となる。

3 申請方法についてのお問合せ先及び申請書提出先

〒990 - 9585 山形市飯田西2丁目2-2

山形大学医学部看護学科担当 電話（023）628 - 5082

なお、長期履修に関する申請書は、原則として入学時（手続時）に受け付ける。

ただし、必要な場合は、修了予定学年の開始前までに申請することができる。

4 授業料

（1） 長期履修における授業料年額は、次のとおりとなる。

授業料年額×修業年限（3年）÷許可された修業年限

（例）修業年限が6年で許可された者の授業料（令和4年度）の年額
535,800円×3年÷6年=267,900円（年額）

（2） 授業料の決定は、長期履修結果通知時に行う。

（3） 在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料が適用される。
その際は、改めて通知する。

教育・研究領域及び連絡を受ける教員

教育・研究分野	教育・研究領域		連絡を受ける教員
高齢社会看護学分野	安全・管理支援看護学領域	<ol style="list-style-type: none"> 安全で安心できる医療・看護・介護を創るために、看護の技術教育・実践における安全支援、看護者の職務満足の向上、看護の人材供給に関する教育・研究を行う。 看護マネジメントまたは皮膚・排泄ケア領域における課題解決のために、組織的な看護サービス提供に関する研究を行う。 	布施 淳子 片岡ひとみ
	生涯生活支援看護学領域	<ol style="list-style-type: none"> 人々の生涯にわたる健やかな生活を支援するために、高齢社会を担う子どもの心と精神の発達・医学的見地からの教育支援、加齢と疾病予防の基礎的研究、地域住民の健康教育や健康行動の促進、精神保健促進への支援を包含した、総合的な研究支援に関する教育・研究を行う。 高齢者の尊厳ある生活・療養を支援するために、虚弱高齢者・排泄障害のある高齢者の自立支援、中高年者の療養上の意志決定支援、認知症及び障害のある高齢者、医療依存度の高い在宅療養者の看護支援やそれを支える多職種連携に関する教育・研究を行う。 	齋藤 貴史 櫻田 香 佐藤和佳子 古瀬みどり 松田 友美 森鍵 祐子

(注) 志願者は、出願書類等の提出に先立ち、上表の当該教育・研究領域の連絡を受ける教員と研究内容、履修計画等の打合せを行うこと。なお、教員と打合せを行う場合は、次へ連絡すること。また、令和4年度授業時間割等を確認したい方は、「山形大学大学院医学系研究科看護学専攻（博士課程）便覧」を送付するので、連絡する際に問い合わせること。

(連絡先)

山形大学医学部入試担当

電話 (023) 628 - 5049

別表 2

令和 4, 5 年度山形大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程研究指導体制

高 齢 社 会 看 護 学 分 野		
専門領域	担当教員	研究指導内容
(看護の安全・安心の保証, 人的資源の供給充実に貢献する教育・研究)		
安全・管理支援看護学領域	教授 布施 淳子	(安全支援) 医療の安全を推進する関連研究として医療安全教育, リスクマネジメント, 看護実践能力の育成, 継続教育, キャリア発達に関する研究を指導します。
	教授 片岡ひとみ	(管理支援) 看護サービスの視点から, 皮膚・排泄ケア専門領域におけるマネジメントに関する研究を指導します。
(健康と尊厳ある生活支援に必要な, 看護・介護を包括的に支援する教育・研究)		
生涯生活支援看護学領域	教授 齋藤 貴史	(健康支援) 生活習慣病に伴う身体の変化を中心に, 生体内の生理活性物質の変動, 生活習慣病の病態, 予防, 看護等についての研究を指導します。
	教授 森鍵 祐子	地域で生活する人々の健康行動や健康づくりを支援するための健康教育や保健事業の展開, 包括的支援のための管理機能等に関する研究を指導します。
	教授 櫻田 香	(療養支援) 加齢に伴う身体の変化, 疾病に関する研究を広く取り扱い指導します。神経系疾患に関する看護, リハビリテーション, 支援, 介護などについての研究を指導します。
	教授 佐藤和佳子	高齢者の生活機能向上を図る看護支援, QOL, 自己決定支援に関する研究を広く取り扱います。具体的には, ADL, 摂食・嚥下障害, 排泄機能のリハビリテーション支援, 認知症・終末期ケア及びがんサヴァイバーシップに関する研究を指導します。
	教授 古瀬みどり	医療依存度の高い療養者の在宅療養生活の安定化を図る看護, 介護継続に関する研究を指導します。
	教授 松田 友美	在宅療養の継続に係る看護ケア技術の開発や超音波装置等の生体反応計測機器を用いたケアの評価, 褥瘡や栄養, 自立支援に関する研究を指導します。

別表 3

カリキュラムの編成と授業科目

分野名	授 業 科 目	内 容	
高 齢 社 会 看 護 学 分 野	高 齢 社 会 看 護 学 特 論 (必修・2単位)	【概要】 子どもから高齢者まで生涯にわたる健康支援、高齢者の疾病予防、虚弱・介護を要する高齢者の自立支援、認知症および障害のある高齢者の在宅療養支援まで、高齢社会における看護の課題を包括的に捉え、併せて医療・看護・介護の安全支援・システムづくり・人材育成の実際と課題について論述する。 また、加齢による日常生活への影響・服薬管理の基礎理論について、薬理学上の知見に基づく看護への応用について論述する。	
	演 習 (二科目選択)	安全・管理支援看護学研究方法演習 (選択必修・2単位)	【概要】 医療安全、看護管理、看護政策の領域に関し、特論及び国内外の文献を通して会得した系統的知識基盤をもとに、各自の研究課題に沿ったシステム開発及び看護の質の保証に有用な研究方法を教授する。
		生涯生活支援看護学研究方法演習 (選択必修・2単位)	【概要】 地域で生活する人々の健康支援、子どもの発達支援、排泄障害を有する高齢者の自立支援、認知症及び障害のある高齢者の在宅療養支援について、各自の研究課題に沿った演習を行う。系統的知識基盤をもとに、理論構築並びに技術開発に有用な研究方法を教授する。 また、加齢による日常生活への影響・高齢者の疾病予防、服薬管理の基礎理論について、薬理学上の分析手法を用いた演習を行う。
	実 習 (二科目選択)	安全・管理支援看護学フィールド実習 (選択必修・4単位)	【概要】 特論・研究方法演習を踏まえ、医療・看護の安全、看護管理に関連したテーマに基づき、専攻する教育・研究領域および各自の研究課題に則した施設において組織一員としての見聞を広め、その中で、研究課題の基盤となる理論構築を検証することで、研究マインドのある看護高度専門職業人にふさわしい見識を養う。
		生涯生活支援看護学フィールド実習 (選択必修・4単位)	【概要】 特論・研究方法演習を踏まえ、地域で生活する人々の健康支援、子供の発達支援、高齢者の自立支援、認知症及び障害のある高齢者の在宅療養支援、また、老化による日常生活への影響や看護薬理学の視点から、高齢者ケアの質の保証に有効な機能を果たす高度専門職業人として実践活動等、各々の研究課題の基盤となる試験的取り組み(仮説設定の系統的事例検討)、又は、実践フィールドにおける指導者としての専門分野の活動を実際に展開し、事前・事後の成果について、系統的で科学的根拠に基づく評価の実際を学習する。このことによって、研究マインドのある看護高度専門職業人にふさわしい見識を養う。
	高 齢 社 会 看 護 学 特 別 研 究 (必修・10単位)	【概要】 特論、研究方法演習、フィールド実習の成果を踏まえ、高齢先進地域の看護・介護支援に有用な研究課題について、各自の研究テーマに沿って自立した研究能力を形成するための学位論文作成の過程を指導する。	

(修了要件 18単位)

受験番号	※1
------	----

令和5年度（春季入学）
山形大学大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）

入 学 願 書

ふりがな					生 年 月 日			
氏 名					昭和 平成 ※2			
					年	月	日	
現 住 所	〒	—			T E L () —			
					携帯電話 — —			
出身大学等	(大学・研究科・専攻名)							
	昭和・平成・令和※2 年 月 修了 修了見込							
入学区分	令和5年度（春季入学）							
志望教育・研究領域				指導予定教員				
入学に関し通知を受ける場所	〒	—			T E L () — 携帯電話 — —			

- (注) 1. 志望教育・研究領域及び指導予定教員については、10頁の別表2を参照し専門領域名及び担当教員名を記入すること。
2. ※1印の欄は、記入しないこと。
3. 外国人留学生等は、※2印の欄を西暦で記入しても構わない。

履 歴 書

受 験 番 号	※1
氏 名	

区分	年 月	事 項
学 歴 ※ 2	昭・平・令 年 月	立 高等学校 卒業
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
職 歴 ※ 2	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	

医療関係取得免許※2	取得(見込)年月	取 得 免 許
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	
	昭・平・令 年 月	

【記入上の注意】

- 1 ※1印の欄は、記入しないこと。
- 2 外国人留学生等は、※2印の欄を西暦で記入しても構わない。
- 3 学歴欄は、高等学校卒業後の学歴を記入すること。ただし、外国での修学歴がある者は、小学校入学時から記入すること。
- 4 職歴欄は、勤務先、勤務部署、職名等を記入すること。
- 5 欄が不足する場合は、複数枚印刷し使用すること。

令和5年度（春季入学）
山形大学大学院医学系研究科
看護学専攻（博士後期課程）
写真票

受験番号	※
ふりがな	
氏名	
入学区分	令和5年度（春季入学）
志望教育・ 研究領域	
<p>写 真</p> <p>○上半身無帽正面向出願前3か月以内に撮影したもの ○写真の裏面全面にのり付けし，下の枠内にはり付けること （縦4cm×横3cm）</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center; padding: 5px;">写真はり付け欄</div>	

※印の欄は，記入しないこと。

令和5年度（春季入学）
山形大学大学院医学系研究科
看護学専攻（博士後期課程）
受験票

受験番号	※
ふりがな	
氏名	
入学区分	令和5年度（春季入学）
志望教育・研究領域	
学力検査等日時・科目 期日：令和4年10月20日（木）	
時間	科目
9：00～10：30	英語
11：00～12：30	小論文
14：00～15：30	口頭試問

※印の欄は、記入しないこと。

以下の「受験者心得」を事前に読んでおくこと。

受験者心得（抜粋）

- (1) 受験票について
 - ・試験当日は、受験票を持参し、試験場に入場する際に提示すること。
 - ・試験場では、常に受験票を携行し、受験中は係員の指示に従うこと。また、試験室では受験票に記載されている受験番号と同じ番号がはられている席に着くこと。
- (2) 受験者は試験開始時刻30分前までに試験場に到着すること。
- (3) 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けること。
- (4) **試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室は認めない。**
- (5) 筆記試験等における留意点について
 - ・**受験票**のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、**鉛筆**（シャープペンシルも可）、**消しゴム**、**鉛筆削り**（電動式・大型のもの・ナイフ類は除く。）、**時計**（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。※試験室に時計はない。）、**眼鏡**、**ハンカチ**、**ティッシュペーパー**（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、**目薬**とする。なお、英語の試験の際は、**英和・和英辞典**（電子辞書、医学看護学等専門辞書を除く。）の持ち込みを可とする。
 - ・試験室では、他人のものを借用したり、共用してはいけない。
 - ・不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とする。
- (6) **携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類**は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておくこと。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとなることがある。
- (7) **英文字がプリントされている服等**は着用しないこと。着用している場合には、脱いでもらうことがある。
- (8) 試験が午後にはわたるため、昼食を持参することが望ましい。

ラベル票

□	□	□	□	□	□	□

						様
電話番号 (.....)						
受験番号		※				

□	□	□	□	□	□	□

						様
電話番号 (.....)						
受験番号		※				

- 注1 2つの欄全てを記入してください。
- 2 ※印の欄は、記入しないでください。
- 3 合格通知を確実に受け取ることのできる郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。
- 4 出願後、住所変更した場合は、速やかに連絡してください。

受 験 許 可 書

氏 名

生年月日 昭和・平成※ 年 月 日

所属機関の名称
所在地

所属部署・職名等

上記の者が、山形大学大学院医学系研究科の入学試験を受験することを許可します。

令和※ 年 月 日

山形大学大学院医学系研究科長 殿

所属長又は任命権者

職・氏名

職印

(注) 外国人留学生等は、※印の欄を西暦で記入しても構わない。

整理番号	※1
------	----

入 学 資 格 審 査 願

令和5年度（春季入学）山形大学大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）学生募集に、
以下により出願したいので、事前審査をお願いします。

令和※2 年 月 日

出 願 資 格 (2頁「3. 出願資格」を参照の上、□内にレを付けること)	<input type="checkbox"/> 「出願資格⑦」 <input type="checkbox"/> 「出願資格⑧」
ふ り が な 氏 名	
住 所	〒 —
電 話 番 号	自 宅 () — 携 帯 電 話 — —
最 終 学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 名 等	昭和・平成・令和※2 年 月 日卒業（修了）
現 職	
志 望 教 育 ・ 研 究 領 域	
指 導 予 定 教 員	

- (注) 1 ※1印の欄は、記入しないこと。
2 外国人留学生等は、※2印の欄を西暦で記入しても構わない。

整理番号	※1
------	----

山形大学大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）

入学資格認定審査調書 (入学資格審査用)

ふりがな氏名	(男・女)	生年月日	昭和 平成 ※2	年 月 日
現住所	〒 —			
学歴（高等学校入学時から記入すること。ただし、外国での修学歴がある者は、小学校入学時から記入すること。）				
年 月 日※2	学 校 名	在学年数		
年 月 日～年 月 日				
年 月 日～年 月 日				
年 月 日～年 月 日				
年 月 日～年 月 日				
年 月 日～年 月 日				
職 歴				
年 月 日※2	勤 務 先	在職年数		
年 月 日～年 月 日				
年 月 日～年 月 日				
年 月 日～年 月 日				
年 月 日～年 月 日				
年 月 日～年 月 日				
年 月 日～年 月 日				
年 月 日～年 月 日				
学会及び社会における活動等				
年 月 日※2	事 項			

- (注) 1 ※1印の欄は、記入しないこと。
 2 外国人留学生等は※2印の欄を西暦で記入しても構わない。
 3 「学会及び社会における活動等」欄は、学会・研究会等に入会した年月を明記すること。
 (現在申請中の場合はその旨明記すること。)

整理番号	※
------	---

山形大学大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）

業 績 調 書
(入学資格審査用)

ふりがな 氏 名	
1 志望理由	
2 現在の研究内容	
3 研究業績等	

(注) 1 ※印の欄は、記入しないこと。
2 枠内に全て記入することができない場合は、新たな用紙（A4判）を用いて記入すること。

研究歴・実務経験証明書

(入学資格審査用)

職 名 _____

氏 名 _____

生年月日 昭和 年 月 日
平成 ※ (男・女)

上記の者の研究歴・実務経験は下記のとおりであることを証明します。

記

年 月 日※	身分 (研究機関名)	研究・実務内容
年 月 日 年 月 日		
年 月 日 年 月 日		
年 月 日 年 月 日		
年 月 日 年 月 日		

住 所

所属長氏名

職印

(注) 外国人留学生等は、※印の欄を西暦で記入しても構わない。